

鳴門市公私連携幼保連携型認定こども園公私連携法人募集に関する質問(回答)
(令和4年7月21日現在)

◆旧里浦幼稚園に関すること

○ 施設設備等について

Q 1 全館空調システムは平成7年11月から使用されているものであり、耐用年数を過ぎ、すでに故障時の部品確保が困難になっている。また令和4,5年度の閉園期間に稼働させないとなると思わぬ不具合や故障につながりかねず、長期間使用でダクト内に蓄積したカビ、結露による汚れの状態や25年以上前の製品の電力消費量の大きさなども合わせて施設運営上の不安点だと感じている。子どもたちが安心して過ごせる環境を整えるためにも、乳児室、調理室の施設整備と合わせて現在の空調機器を更新し、各クラスに個別の機器の設置を検討したいが、鳴門市としても積極的に防衛省との協議等をすすめてもらえるか。

A 1 正式に整備計画を立てる段階において、お問合わせの事情による個別の空調機器への更新希望について、本市が窓口となり防衛省に対して協議を行います。

Q 2 現在確認できる園舎の雨漏りは修繕してもらえるか。

A 2 建物を無償譲渡する場合は、現状有姿の状態引き渡すこととなります。

Q 3 旧里浦幼稚園の電力(動力)の契約キロワット数が知りたい。

A 3 ①従量電灯B 契約容量 14KVA
②低圧電力 契約電力 32KW 力率 90%

Q 4 現在の浄化槽について大きさなどの仕様を知りたい。

A 4 単独分離接触ばっ気方式 40人槽

◆旧里浦幼稚園・旧大津西幼稚園共通

○ 福祉医療機構「社会福祉施設職員等退職手当共済事業」について

Q 5 公私連携法人の掛け金額が社会福祉法人の3倍になる問題について全国的に問題となっており各自治体で対応が異なるものなのか、また今回の公募では法人が全額負担することになるのか知りたい。

A 5 社会福祉施設職員等退職手当共済事業の掛け金の増加額については、本市独自の取り組みとして、市が負担することとしています。
具体的には、私立幼保連携型認定こども園だった場合の法人の負担額と公私連携幼保連携型認定こども園となることによる法人の負担額との差額を連携法人に支給します。